

2017年2月21日(火)

株式会社シースタイル

土地の相続はデリケート!? 51.3%が「検討は進んでいない」。
相続予定の財産は、「土地」91.0%、「建物」80.7%、「預貯金」45.3%。
建物を相続したら「自分で住む」33.9%。60代は48.3%と顕著に。

不動産関連の比較査定サイト「スマイスター（<https://www.sumaistar.com>）」を運営する株式会社シースタイル（本社：東京都中央区、代表取締役：川合 大無）は、「将来不動産を相続する可能性がある」という30～70代の全国300人を対象に、「今後の不動産相続についての行動」についての調査を行いました。

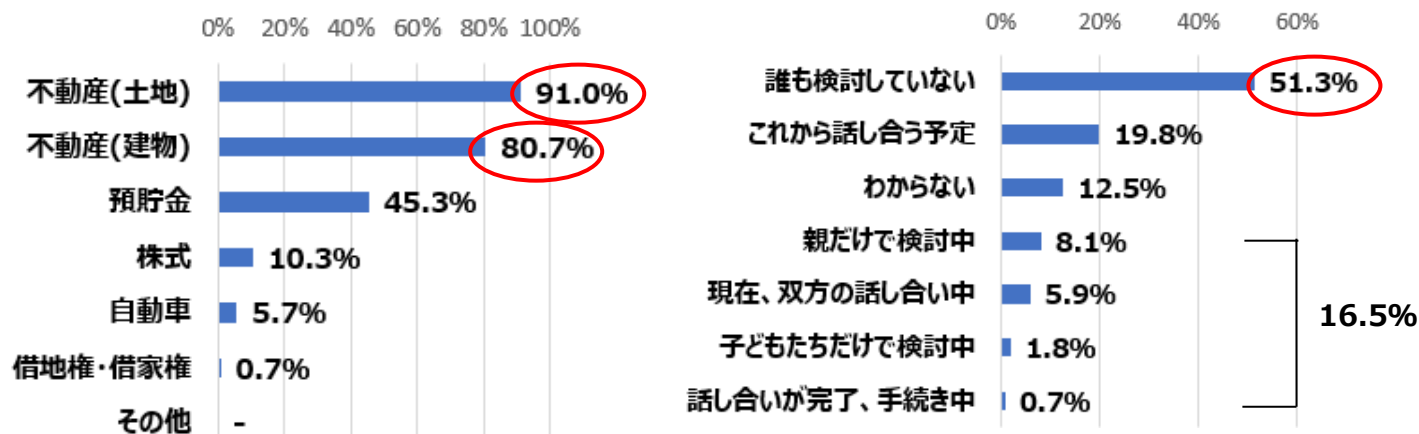
【調査結果サマリー】

- ・ポイント1 相続するのは「不動産」中心。金融資産の相続は「預貯金」45.3%、「株式」10.3%。
- ・ポイント2 「土地」を相続するための検討は先送り…。親族間での話し合いは16.5%どまり。
- ・ポイント3 「建物」を相続したら、3人に1人は「自分で住む」。「売却予定」は13.2%。

「土地相続の検討は約5割が未着手。実際に『話し合った』は16.5%。」

「不動産相続を受ける可能性のある」人に、相続予定の財産について聞いてみました。1位「土地」91.0%、2位「建物」80.7%、不動産以外として3位「預貯金」45.3%、4位「株式」10.3%となり、金融資産も一緒に相続する人は約半数にとどまりました。次に相続を受ける予定1位の「土地」について今の検討状況をたずねたところ、51.3%が「誰も検討していない（何も進んでいない）」と回答。検討が進んでいる人の合計は16.5%と2割弱となり、分配の難しい不動産相続は、家族間の話し合いを先送りしている様子が見えられました。

■ 将来、相続を受ける可能性のあるものは？（複数回答 N=300） ■ 相続を受ける「土地」について、今の検討状況は？（N=273）



＜本リリースに関するお問い合わせ＞

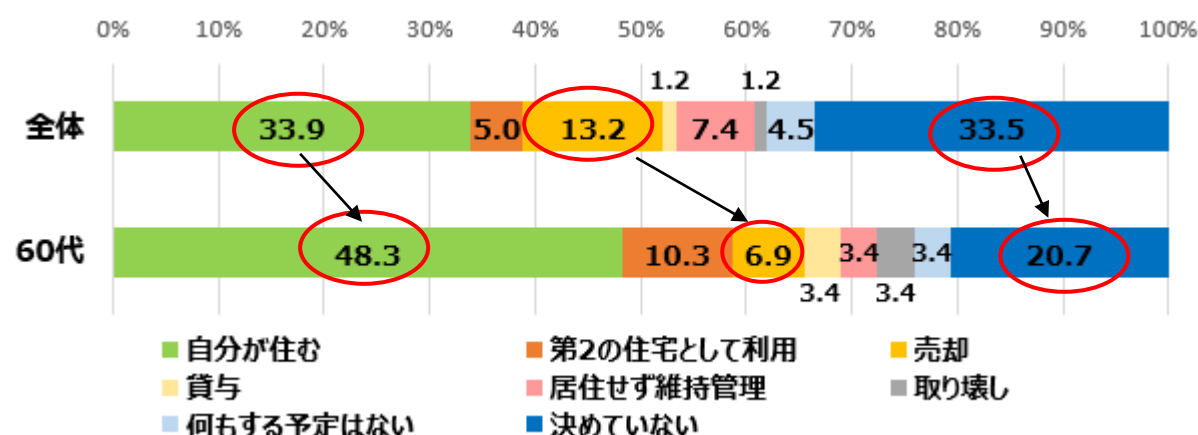
株式会社シースタイル 企画開発部 広報 小林 千章（コバヤシ チアキ）

E-mail: press@cstyle.co.jp TEL : 03-5847-8558 FAX : 03-5847-8559

『リタイア後は相続した家に住みたい』。60代の約半数が住み継ぐ意向

つづいて、相続を受ける可能性のある「建物」については、どのように利用する予定なのでしょう。1位は「自分で住む」33.9%となり、3人に1人は「住み継いで活用する」意向を示しています。2位は「決めていない」33.5%、3位は「売却」13.2%となり、約3割の人は「相続を受けた時の状況に応じて、利用法を考える」というのが本心ようです。一方、60代になると「自分で住む」48.3%という意向が顕著に！「第2の住宅として利用」10.3%を含めると60代の半数以上が「家族の歴史が残る家での暮らし」を希望しています。

■ 相続をする予定の建物について、今後の利用意向は？（単位%、N=300）



<http://www.cstyle.co.jp/news/detail/release/20170221>

<調査概要>

- 調査期間：2017年1月13日～15日 ■ 調査手法：インターネット調査（ネオマーケティング調べ）
- 集計数：「将来不動産を相続する可能性がある」という30代以上の全国300人

<スマイスターについて>

■ 内容：不動産関連サービスの総合比較サイト「スマイスター」は、複数の不動産会社に無料で一括問い合わせをすることができるサービス。2006年運営開始で現在掲載企業数約1,600社。対応カテゴリは、不動産売却、任意売却、不動産買取、土地活用、賃貸管理、マンション管理、ビル管理、不動産投資、貸事オフィス、リノベーションなど10サービスを展開。不動産業界に特化した一括問い合わせサイトで10サービスの展開は日本随一。

■ URL：https://www.sumaistar.com

<スマイスターMagaZineについて>

■ 内容：マンションや土地の売却、売買に関するニュースや記事、専門家のブログなどが満載！投資や相続の体験談など幅広く取り揃えている。

■ URL：https://www.sumaistar.com/magazine/article/

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社シースタイル 企画開発部 広報 小林 千章（コバヤシ チアキ）

E-mail: press@cstyle.co.jp TEL：03-5847-8558 FAX：03-5847-8559